論文種類【原著論文（Original Article），総説（Review Articles），研究速報（Research Report），レター（Letter）

ノート（Note）】←１つを選び，その他を消す．

分野【視覚，情報，工業，空間，その他】←１つを選び，その他を消す．

工科デザイン研究論文フォーマット（タイトルに置き換える）

サブタイトルがある場合は2行目に記入

Technological Design Studies Journal Format

Subtitle should be written on the second line

井藤雄一

東京工科大学 講師

itohyic@atf.teu.ac.jp

ITO Yuichi

Tokyo University of Technology

執筆者名

◯◯◯◯大学 准教授

連絡先 @email.ac.jp

name(family-name-first style)

xxxxxxxxxx University

概要（抄録）300字以内．この論文フォーマットは工科デザイン研究に投稿される際に利用されることを想定している．本フォーマットに執筆された論文は工科デザイン研究編集委員会にて，規定のフォーマットに編集する．そのため，このまま論文誌に掲載されさないことをご承知いただきたい．掲載の際には規定のフォーマットに編集された原稿を校正していただく．

Abstract 100 words or less. This paper format is intended to be used when submitting to Technological Design Studies. The Technological Design Studies editorial committee will edit papers written in this format into the prescribed format. Therefore, please be aware that the paper will not be published in the journal as is. When publishing, please proofread the manuscript edited to the prescribed format.

キーワード: ◯◯◯◯，◯◯◯◯，◯◯◯◯，◯◯◯◯，◯◯◯◯

Keyword: ◯◯◯◯, ◯◯◯◯, ◯◯◯◯, ◯◯◯◯, ◯◯◯◯

# はじめに

本稿は，工科デザイン研究論文誌の投稿用フォーマットを提供するものである．なお論文執筆に際しては，工科デザイン研究ウェブサイトに掲載されている「工科デザイン研究/TechnologicalDesignStudies 投稿規定」 もあわせてご参照いただきたい．投稿規定は以下のサイトに掲載されている．

<https://tech-d.org/投稿規定/>

# 投稿論文の書式

## ページ設定およびページ数

ページ設定はA4とする．論文本体のページ数は特に規定しない．以下のページ数を目安とする．

* 原著論文（Original Article），総説（Review Articles），
  + このフォーマットにて8ページ以内．
* 研究速報（Research Report），レター（Letter），ノート（Note）
  + このフォーマットにて4ページ以内．

それ以上の長さの論文を投稿したいときは，編集委員会に問い合わせいただきたい．

## 論文の構成

論文冒頭（1ページ目）に以下の内容を記述すること．本ファイルの冒頭部分を参照のこと．

* 論文種類
  + 原著論文（Original Article），総説（Review Articles），研究速報（Research Report），レター（Letter）ノート（Note）からひとつ選び【】内に記入する．
* 分野
  + 視覚，情報，工業，空間，その他，からひとつ選び【】内に記入する．
* 論文題名，サブタイトル(和文，英文)
* 著者名(和文，英文)
  + 複数著者の場合は，筆頭著者の名を最初に，全員の名を記載すること．
* 著者所属，職位，連絡先(和文，英文)
  + 複数著者の場合は全員の情報を記載すること．
* 論文概要(英文100ワード程度)
* キーワード(和文5個程度，英文5個程度)

続いて本文（1ページ目）以降，以下の内容を記述のこと．本文の書式は，原則として1段組とする．

* 本文（和文または英文）
* 参考文献（本文と同一の言語）
* 図表（本文と同一の言語）

# 執筆上の注意

## 本フォーマットについて

概要に記載したが，本フォーマットに執筆された論文は工科デザイン研究編集委員会にて，規定のフォーマットに編集する．そのため，このまま論文誌に掲載されさないことをご承知いただきたい．掲載の際には規定のフォーマットに編集された原稿を校正していただく．そのため，本フォーマットを厳密に即することは必要ないが，ある程度合わせていただけると有り難い．

## 章・節

本文は読みやすい長さで章・節に分けて記述する．すべての章・節に，題名および番号をつけること．謝辞および参考文献には番号をつけなくてもよい．

## フォント

　基本的には10ポイントを使用する．日本語文字には明朝体またはそれに類似するフォント，英語文字にはTimesまたはそれに類似するフォントを推奨する．ただし以下の項目については，目立つように変更する．

### 論文題名（和文）

16ポイントで日本語文字には明朝体またはそれに類似するフォント，英語文字にはTimes New Romanまたはそれに類似するフォントを推奨する．

### 章・節題名

ボールドを利用し目立つようにする．本フォーマットでは章は12ポイントでボールド，節は10ポイントでボールドとしている．

## 注釈

注釈を挿入する場合はMicrosoft Word[[1]](#footnote-1)の機能を利用して挿入すること．8ポイントで記述すること．

## 図表

図や表を論文本体に掲載する際にはすべて本文から引用すること．また，引用された文章に近い適切な位置に挿入すること．さらに，すべての図表には通し番号および題名をつけること．図は本体の下，表は本体の上に明記すること．以下に例を示す．

**グラフィカル ユーザー インターフェイス が含まれている画像

自動的に生成された説明**

図1　図の例．

表1　表の例．

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | α | β | γ |
| First | 1 | 2 | 3 |
| Second | 5 | 8 | 13 |

## 参考文献

参考文献は本文の後に列挙する．すべての参考文献は本文中で引用し，通し番号をつける．参考文献には読者が文献を特定できる次のような要素を含めること．著者，タイトル，出版物の名前，出版社，ページ，発表年．

記載例：

[1]Yuichi Ito, Carl Stone, Masashi Yamada, Shinya Miyazaki，“Datamoshing Technique for Video Art Production”，芸術科学会論文誌，Vol.13，No.3，pp. 154-168，2014年．

[2]暮沢剛巳，「拡張するキュレーション」，集英社新書，2021年．

# まとめ

本フォーマットでは，工科デザイン研究論文誌の投稿用のMicrosoft Wordサンプルを提供した．本フォーマットの不具合等に気づかれた場合は，工科デザイン研究編集委員会までご一報をいただけると非常に幸いである．

**謝辞**

工科デザイン研究論文誌に投稿される著者の皆様に深く感謝する．

**参考文献**

[1]Yuichi Ito, Carl Stone, Masashi Yamada, Shinya Miyazaki，“Datamoshing Technique for Video Art Production”，芸術科学会論文誌，Vol.13，No.3，pp. 154-168，2014年．

[2]暮沢剛巳，「拡張するキュレーション」，集英社新書，2021年．

2024年8月27日 第0版

（欠番） 第1版

2025年3月22日 第2版

章のフォントサイズを規定値に修正．

見出しのスタイルを追加．

軽微な修正．

1. マイクロソフトが販売している文書作成ソフトウェア． [↑](#footnote-ref-1)